

記念事業開催会場案内（日本大学理工学部船橋校舎マップ）

■ 都心からの鉄道アクセス ■



自由見学施設の概要

●テクノスペース15

「交流の場を核とした創造性を育む施設」「地域社会に開かれた施設」「周辺環境との調和と地球環境への配慮」をコンセプトに、バリアフリーや環境・省エネルギーへの貢献も考慮して設計された総合実験施設です。土木・交通モデル実験室、環境水理実験室、マルチホールなどが設置されています。

●日本大学理工学部科学技術史料センター（CSTミュージアム）

理工学部内外に所在する本学部関係者がかかわる史資料の収集、保管、展示ならびに調査・研究を行い、併せて教職員、学生および一般の利用に供することを目的として、2004年に開設されました。CSTミュージアムでは、文献・史料だけでなく、模型や実物などの「もの」も収集・展示されています。

船橋日大前駅から（中央門）

テクノスペース15（自由見学）

ファラデーホール（懇親会会場）

*当日、プラザ習志野の食堂は営業しています。昼食はぜひ学食の大雑把な味と盛り付けをお楽しみください。（費用は自己負担）



◆バスカルホールのおすすめランチ（日大スペシャルカレー 500円）

13号館（記念行事会場）

7号館（体験・展示・特別講義会場）

北習志野駅から（西門）

◆セグウェイ乗車体験



◆交通シミュレーター操作体験



①：屋外展示物の設置位置

CSTミュージアム（自由見学）

●CSTミュージアム船橋キャンパス屋外展示物

- ① 関東大震災の歴史的記録
- ② 江ヶ崎跨線橋の支承
- ③ 明治期万年橋のアーチ部材と昭和戦前期の鉄筋とコンクリート
- ④ 軽飛行機 N-58 Cygnet（模型）
- ⑤ ダウンウインド型風向風速計
- ⑥ 潮流発電装置
- ⑦ NU-102 風力発電装置
- ⑧ フェロセメント（金網モルタル）ヨット
- ⑨ 海幸橋のヒンジ
- ⑩ 高品質リサイクルコンクリート壁試験体
- ⑪ 『旧三菱一号館』復元のための煉瓦壁試験体

わたちの会創立50周年 記念事業のご案内

日時：2016年（平成28年）10月22日（土）

場所：日本大学理工学部 船橋校舎



◆プログラム

10:00～キャンパス内自由見学

①学内施設の公開

- テクノスペース15
- CSTミュージアム
- CSTミュージアム 屋外展示

*学内施設は各自自由にご覧ください。

②乗物、実験施設の体験

- セグウェイ乗車体験 ⇒テクノスペース15

- 交通シミュレーター体験 ⇒7号館地下

*セグウェイ乗車体験、交通シミュレーター体験は先着順にご案内します。

③展示コーナー

- 歴代集合写真やパネル ⇒7号館地下

*展示コーナーは各自自由にご覧ください。

★11:30～12:30 特別講義 ⇒7号館4階741教室

- 高田邦道先生・宮森建樹先生による講義

14:00～記念行事 ⇒1326教室

- わたちの会総会
- わたちの会創立50周年記念式典（①記念講演 ②第1～5期OBによる座談会）

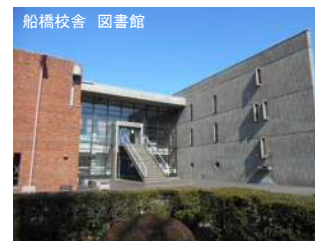
16:45～祝賀会 ⇒ファラデーホール

18:15 中締め

交通工学科創設時の学び舎 生産工学部津田沼校舎14号館



第5期生から現在までの学び舎 理工学部船橋校舎7号館



船橋校舎 大型構造物試験センター



船橋校舎 理工スポーツホール



船橋校舎 テクノスペース15



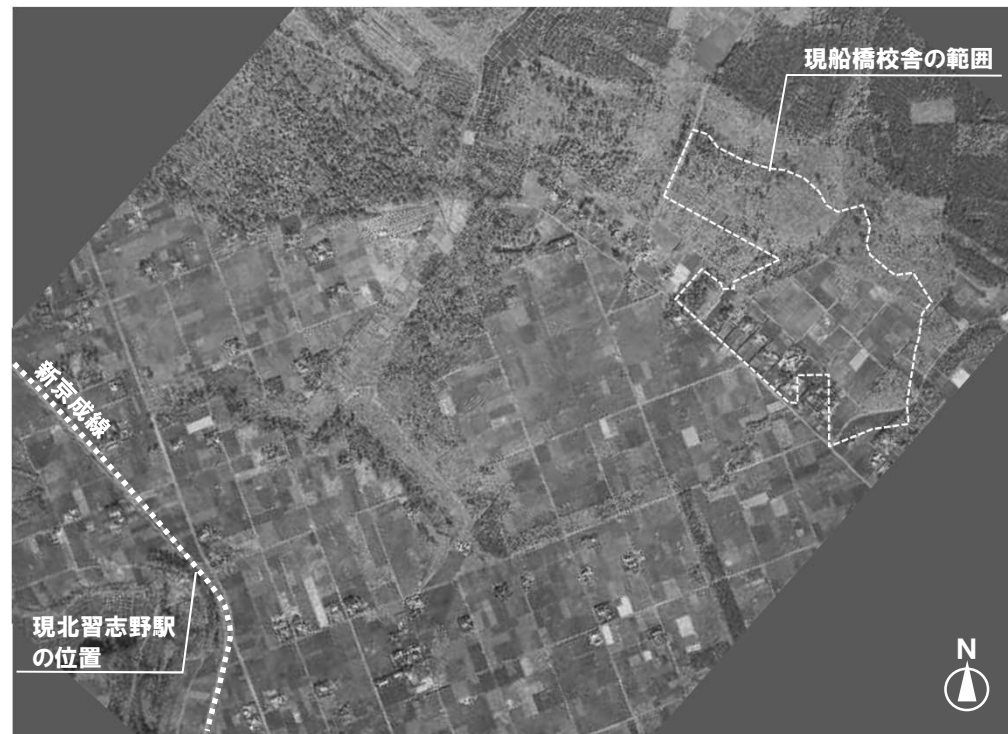
日本大学理工学部
交通工学科
交通土木工学科
社会交通工学科
交通システム工学科

同窓会

つちかっただ道、未来へ

▼1960年(昭和35年)

学科創立1年前の習志野台です。校舎も周りも何もありませんでした。新京成線は、1947年(昭和22年)12月27日に新津田沼～薬園台間、1948年(昭和23年)8月26日に薬園台～滝不動間で単線営業開始、北習志野駅は1966年(昭和41年)4月11日に電鉄初の橋上駅として開業しました。



▼1966年(昭和41年)

船橋校舎(当時は習志野校舎)ができて1年目の頃。公団(現UR)習志野台団地が立ち並び(昭和42年2月入居開始)、開発が進展してきました。

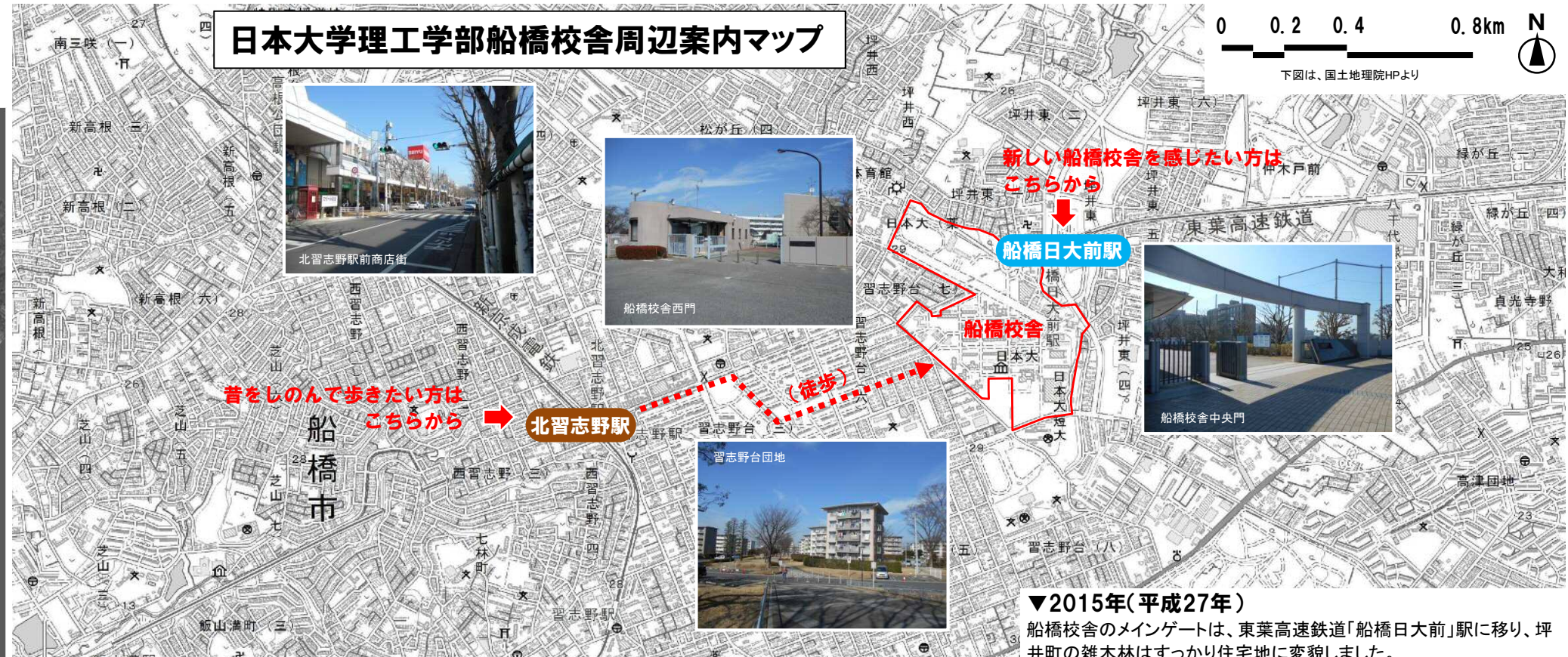


▼1979年(昭和54年)

船橋校舎がかなり充実、白亜の10・11号館やプラザ習志野ができています。Uターンのできる滑走路のような交通総合試験路もはっきりと見えます。習志野台団地の周りにも戸建住宅が密集してきました。



日本大学理工学部船橋校舎周辺案内マップ



▼2015年(平成27年)

船橋校舎のメインゲートは、東葉高速鉄道「船橋日大前」駅に移り、坪井町の雑木林はすっかり住宅地に変貌しました。



▼1960年(昭和35年)

学科創立1年前の理工学部(現生産工学部)津田沼校舎周辺。第1期～4期生がここで学びました。



昭和36年ごろの津田沼校舎(第1期生入学年)



交通工学科誕生の地
生産工学部津田沼校舎

▼1989年(平成元年)

東葉高速鉄道の建設が始まり、地上部の高架橋が見えてきました。(鉄道は1996年(平成8年)4月27日開業)

